



Today's topic “**単元づくり**” “Content-led learning”

文科省直山木綿子調査官のお話より（10月13日）

外国語科は中学校の前倒しではなく、新しい教科
小学校でしかできないことがある 小学校文化に根差した外国語教育を！
英語のブラッシュアップは必要だが、『英語力』よりも『授業力』

小学校担任ならではのよさとは・・・（元教育センター指導主事 松尾美値余先生より）

日頃のコミュニケーションの実態を把握している
⇒ 適切な活動の設定 適切な指導助言・コントロール
児童の一人一人を理解している
⇒ 個に応じた配慮や働きかけ～児童の安心感・自信
児童の小さな変化やよさ、頑張りを見つける目
児童の日常生活（他教科の学習、学校生活、家庭生活）や興味・関心を熟知している
⇒ 児童が意欲的に参加できる活動の設定（児童が知りたいこと・伝えたいこと）

単元での授業設計を行い、言葉に心を乗せて伝え合おうとする子どもたちの姿を！

【単元の流れ】（例）

新しい英語表現に出会う・ゴールの設定



英語表現に慣れ親しむ



聞いて反応する・まねて言う
考えながら言うなど

（気持ちをのせて）伝え合う



コミュニケーション活動

新たな気付き・新たな意欲
世界の広がり



【単元づくりのポイント】

単元のねらいとゴールを定める

ゴールの言語活動を明確にして、伝えたいこと、聞きたいことを伝え合うことができるコミュニケーションの場を設定する

※他教科や学校行事との関連は？

単元の流れを決める **易 ⇒ 難**

聞く→話す 児童対教師→児童対児童
全体→ペア→個人 身近なもの→世界

コミュニケーション活動で使用する表現を決める 児童の実態に応じて

直山調査官より
補足で(^_^)

担任が英語を使おうとしなければ、子どもは使わない。
使おうとする姿を見せること、私たちの壁を低くすることから。
子どもたちが生きていくグローバル社会を見据えて。
語学の学習に耐えうる子を育てるため、「通じる」経験を積み重ねていく。